

* JOB NO. *

31

コンピュータシステムの設計・開発・運用

システムエンジニア

この仕事のキーワード

- コンピューター
- プログラミング
- システム
- ICT
- 情報
- DX

こんな人に向いています

- パソコンが好き
- 相手のやりたいことを理解できる
- 新しいコトに興味がある
- 雑談が好き
- 文章を読むのが好き

職場ではこんな人も働いています

- 総務
- 営業
- システム管理
- DX推進



**ICTで地域に貢献
仕事を効率化するシステムをつくる**

自治体をはじめ、お客様の仕事の内容を把握し、仕事が効率的に進められるシステムをつくっています。「お客様が何に困っているのか」を理解するため、パソコンに向かうだけでなく、お客様との会話を大切にしています。わからないことがあるときは理解できるまで何度も認識のすり合わせをします。また、違和感に気付いたら、すぐに相談・軌道修正をすることも必要です。システムの設計・運用の他、お客様からの質問やその後のカスタマイズにも対応します。

入社11年目
松浦さん

私がこの仕事に就いたきっかけ

システムエンジニアとして地元社会に貢献したいと思ったからです。また、社会の動向を考えたとき、情報関連の職種にはこれから高い需要が見込まれると思いました。室内で落ち着いて仕事ができる働き方を希望していたことも理由の一つです。

システムエンジニアの仕事内容

要件定義・設計

お客様のやりたいことや困りごとを聞きます(要件定義)。業務を理解することが効率的なシステムを設計する第一歩になります。次にプログラマーに依頼をする設計書を作成します(設計)。



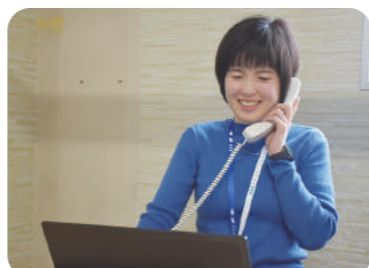
開発・検証・適用

設計に基づいてプログラミングし、それが正しいかどうかテストします(開発・検証)。間違っていたときは、設計段階に戻ります。正しいプログラムができたお客様にシステムを反映します(適用)。



保守

使い方の説明や機能改善を行います。自治体で使うシステムは、制度が改正される度にシステムを対応させる必要があります。アップデートはシステムに問題が起きるのを防ぐ役割があります(保守)。



必要な資格・スキル

- ITパスポート試験
- 基本情報技術者試験
- マイクロソフトオフィススペシャリスト (MOS)

※必要資格ではありませんが、上記のような基本的な資格が役立ちます。

株式会社福島県中央計算センター (FCC)

福島市新町7番22号 TEL/024-534-0108

創業/1967年5月 従業員数/94名



福島県中央計算センター公式キャラクター
「スノーラビット」(愛称:スノラビ)



株式会社福島県中央計算センター (FCC) ではこんな仕事をしています

システムインテグレーションサービス

さまざまなコンピューターシステムを安全で安心なネットワークを介し、スムーズに動作させるための仕事です。アプリやウェブサイトが正しく動くようにするのもこの仕事の一環です。



アウトソーシングサービス

自治体から業務を引き受け、それを適切に処理します。自治体においてはその労力の削減を住民サービスの向上につなげることができます。水道料金の納付書の作成もその一つです。



情報モラル教室

小学校においてインターネットの安全な使い方やプライバシーについて学ぶ「情報モラル授業」を実施しました。地域貢献活動としてこれからも続けていきます。



DX (デジタルトランスフォーメーション)

デジタル技術で仕事を効率化し、新たな価値を生み出す取り組みをしています。生活や社会がより便利になるよう手助けをします。誰もがデジタルを使えるようにパソコン教室なども開催します。



2025年2月に新社屋が完成！ 電気の使用量を抑えたエコな会社へ

2025年2月に環境に配慮した「Nearly ZEB」仕様の新社屋が完成予定です。「Nearly ZEB」とは、減らすエネルギーと創り出すエネルギー消費量(電気使用量)を25%以下まで削減した建物です。多くのコンピューターを使う仕事なので、電気の消費量が多くなりますが、人にも環境にも優しい社屋を目指します。

